

登録コード	BSD81568	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学演習 I (22BS以降)					担当教員	小関 道彦
英文授業名	Seminar in Biomedical Engineering I					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	自らが取り組む生体の解析技術や計測技術に関する研究に関し、議論をできるようになる。
(2)授業の概要	生体の解析技術に関する研究、または、生体の計測技術に関する研究、について学生ごとの研究の進捗状況およびまたは、関連した技術文献、研究論文、専門書の内容について、演習参加学生が輪番で講義しないしは発表し、討論を行う。						
(3)授業計画	毎週、研究室所属メンバーが集合して上記の演習授業を実施する。						
(4)成績評価の方法	課題として与えられたプレゼンテーションやレポートの内容、討論への参加状況を総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	下記の5項目を評価する。 (Ⅰ)問題の設定が適切か (Ⅱ)その問題の背景を説明できているか (Ⅲ)その問題にどのような課題があるのかを指摘できているか (Ⅳ)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できているか (Ⅴ)その上で自分の見解を提示できているか 全ての項目を満たし、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 全ての項目を満たしていれば「かなり上にある」。 4項目までできていれば「やや上にある」。 3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	事前学習：有意義な討論を行うために先行研究調査やデータの分析を行い、適切な資料・スライドを準備すること。 事後学習：討論での指摘事項を踏まえ、次の討論までの研究計画を立案し、実施すること。						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	随時対応する。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない。(学生の研究テーマによる)						
【参考書】	指定しない。(学生の研究テーマによる)						